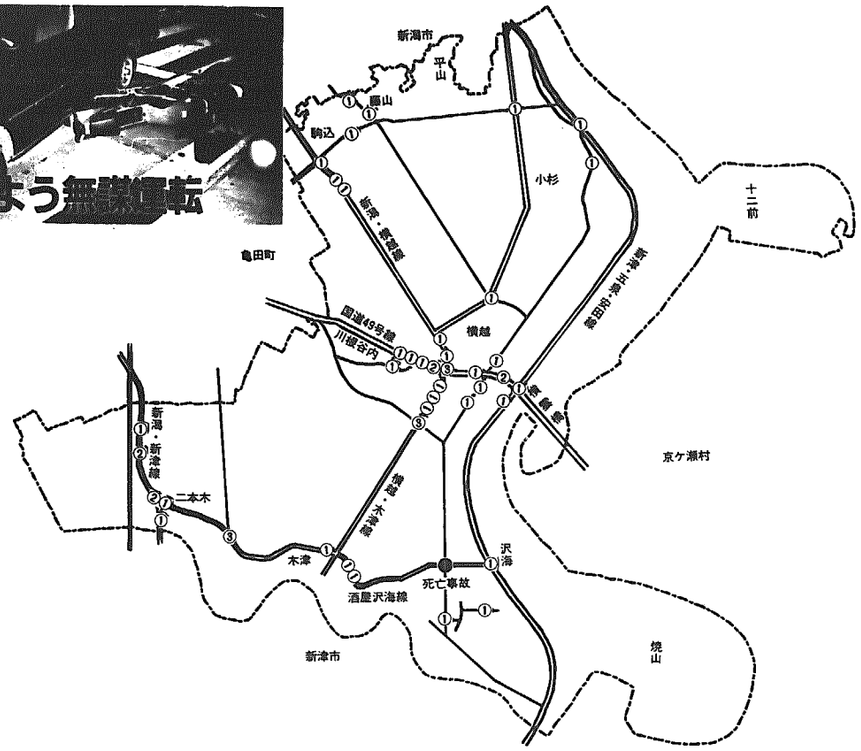
ここが危い！ 村内交通事故発生箇所



○内の数字は昨年1年間の事故発生件数です

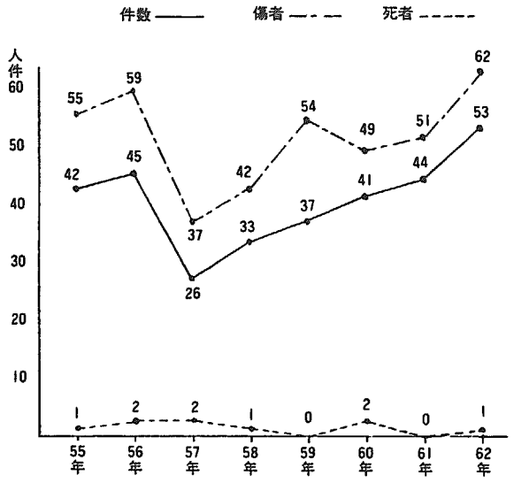
年々増加する村内発生交通事故

過去八年間の村内発生事故状況をみますと、昭和五十七年が二十六件と一番低くなっていますが、その後毎年増加を続け、昭和六十二年には五十三件となり、市町村別交通事故発生状況で、県下ワースト第六位という交通事故多発地帯となっています。

事故を起こした人をみると、道路状況をよく知らない村外の人が三十四件(六四・二%)と多くなっていますが、村内の人も十九件(三五・八%)となっており、村内運転者のモラルの低下が現われているものと思われます。

時間別の発生状況では、午前七時から九時までが十七件でトップ。次いで午後五時から七時までが十件と続いており、朝・夕の通勤時に多発しています。運転者・歩行者など全ての人が、朝・夕には特に注意したいものです。

村内の過去8年間の交通事故発生状況



総合健診　健康は自分のもの　進んで健診を受けましょう

7月1日(金)
二本木（二本木公会堂）
7月4日(月)
木津（農業構造改善センター）
7月5日(火)
午前　川根谷内(妙泰寺)
午後　藤山・駒込（藤山会館）
7月6日(水)
小杉（コミュニティセンター）
7月7日(木)
午前　焼山（集落開発センター）
午後　沢海上（環境改善センター）
7月8日(金)
沢海中・下（環境改善センター）
7月11日(月)
横越上・下（横越村公民館）
7月12日(火)
横越中(横越村公民館)

※健診時間は、午前9時から11時30分まで、午後は1時から3時まで。
※健診を受けなかった人は、胸部レントゲンのみ7月12日午後5時から8時まで横越村公民館で行います。

増え続ける交通事故 安全確認で事故防止を

現代は〝クルマ社会〟。そのなかにあって、最近、村内外を問わず交通事故が多発しています。

村では交通事故撲滅のため、昭和六十年七月に『交通安全の村』の宣言をして、特に交通安全に努めてきたところですが、昨年の市町村別交通事故発生状況で、県下百十二市町村の中で第六位、免許人口（千人）当たりの居住市町村別事故率では県下ワースト1という大変憂慮すべき状態となっています。

今年も先月には、村内でいたましい死亡事故が発生するなど、交通事故があとをたたないという状況です。

村でも今年度の重点事業として、交通安全対策会議条例を制定。五月にその対策会議を開催し、具体的方策の検討を行うなど関係機関の協力を得ながら交通安全対策に取り組んでいるところでありますが、現在の〝クルマ社会〟にあって事故を防止していくには、一人ひとりが正しい交通ルールとマナーをしっかり身につけ、事故を未然に防げるかどうかにかかっています。

交通安全宣言の村にふさわしい地域づくりのため、今一度心を新たにして、お互いに交通ルールを守り、事故を起こしたり、被害にあわないように注意しましょう。

村民総ぐるみで交通事故防止を

横越村長　浅見良一

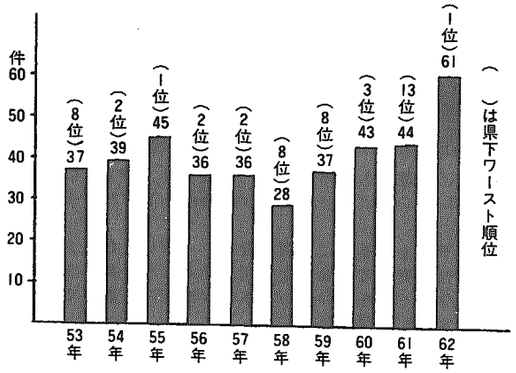
最近、村内外を問わず交通事故が多発しており、横越村も緊急事態となっております。

村では交通事故撲滅のために、昭和六十年七月には、交通安全の村を宣言し、特に交通安全に努めてきたところでありますが、現在の状況では、市町村別交通事故発生状況で県下第六位、免許人口千人当たりの居住市町村別事故率では、県下ワースト1という大変不名誉な汚名を県下に公表している状況であり、誠に残念なことであります。

また、先月の十五日には、村民の関係するいたましい死亡事故が発生するなど、大変憂慮すべき事態に立ち至っております。

村も、今年度重点事業として、関係機関のご協力をいただき交通安全に取り組んでいるところでありますが、どうか村民の皆さんからも交通ルール、交通マナー、運転マナーを守っていただき、村からは交通事故をなくし、交通事故を起こさない、事故にあわない、明るい家庭づくりと交通安全宣言の村にふさわしい横越村の地域づくりに、特段のご協力をお願い申し上げます。

村内居住者による過去10年間の事故発生推移



県下ワースト1の事故発生率

過去十年間の村内居住者による事故発生状況をみますと、昭和五十八年が二十八件と一番低くなっていますが、その後毎年増加を続け、特に昭和六十二年は前年より十七件も一挙に増加し、免許人口当たり居住市町村別事故率で県下ワースト1という汚名を県内に公表する結果となりました。

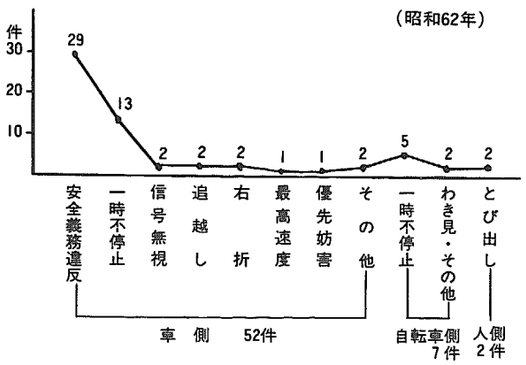
過去十年間の村内居住者による事故発生状況をみますと、昭和五十八年が二十八件と一番低くなっていますが、その後毎年増加を続け、特に昭和六十二年は前年より十七件も一挙に増加し、免許人口当たり居住市町村別事故率で県下ワースト1という汚名を県内に公表する結果となりました。

過去十年間でワースト10に入っている年が九回という状況になっています。

また、昭和六十二年の事故発生地をみますと、村内十九件、新潟市二十一件、亀田町十三件、新津市六件などとなっており、村外での事故が多くなっています。

事故原因（発生状況を第1当事者の違反別でみた場合）

（昭和62年）



新潟地域農業共済組合職員採用試験のお知らせ

村農業共済事業の広域合併に伴い、新潟地域農業共済組合職員を募集します。

ただし、広域合併するまでの間は村の臨時職員として採用します。

一、職種及び人員
新潟地域農業共済組合職員　二名

二、受験資格
昭和39年4月2日以降に生まれたもので、高等学校卒業程度の学歴を有し、村内居住者に限る。

三、受け付け期間
昭和63年6月30日(木)まで（午後5時必着）

四、受験申込み及び添付書類
受験申込書、履歴書、成績証明書

五、申込み先
横越村役場総務課

六、採用試験
○日時　昭和63年7月17日(日)　午前8時30分受付
○試験会場　横越村役場
○試験科目　一般教養、作文、面接
○携行品　筆記用具・昼食

七、採用予定
昭和63年8月1日から昭和64年3月31日までは村臨時職員。昭和64年4月1日に新潟地域農業共済組合職員として正式採用。

※くわしくは総務課人事係へ